

NEWS LETTER NO.32

京都地域未来創造センター
(KIRP) について

京都府立大学の「知」を活かし、地域の未来を創るための拠点として発足した地域に向けた総合窓口です。協働研究、受託研究等に関するご質問、ご相談があればお気軽にお問い合わせください。

WEBサイト



075-703-5390
kirpinfo@kpu.ac.jp
<https://www.kirp.kpu.ac.jp/>
606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5
7号館 1階

京都府立大学
京都地域未来創造センター
KYOTO INSTITUTE FOR
REGIONAL PROSPECTS

開催案内 まちづくり人材育成プログラム
「2023場づくりLabo in与謝野町ー農と食と地域ー」

京都地域未来創造センターでは、10/7(土)-10/8(日)に、与謝野町をフィールドに、「まちづくり人材育成プログラム 場づくりLabo」を開催します。Laboでの出会いや交流、みなさまの参加をお待ちしております。

- 日程：オンライン事前学習 9/30(土)10:00~12:00
現地フィールドワーク【1泊2日】10/7(土)11:00~10/8(日) 15:00
- 会場：オンライン事前学習：ZOOM
現地フィールドワーク：京都府 与謝郡 与謝野町
1日目：かや山の家（与謝野町温江1401）
2日目：PUBLIC HOUSE TANGOYA（与謝野町下山田1342-1）
- 定員：15名程度 ※締切 9/11(月)

開催案内 【ACTR成果報告】ACTRパネル展示



期間：2023年9月1日(金)～9月29日(金)
時間：平日9時～18時、土日9時～12時・13時～16時
場所：京都学・歴史館 京都学ラウンジ

京都府立大学では、京都府内の地域振興や産業・文化の発展等に貢献することを目的として、地域貢献型特別研究（ACTR）を実施しています。本学教員が府内各地の自治体、NPO、経済団体などと連携して、地域課題解決に向けた調査研究活動に取り組んでいます。このたび、令和4年度のACTRの各研究成果をポスターにまとめたパネル展を開催します。また、映像による紹介も行っております。ぜひ併せてご覧ください。

開催報告 【ACTR採択研究課題代表研究者向け】
説明会・交流会の実施

地域貢献型特別研究（ACTR）研究者同士の情報共有・交流の場を創出することを目的に、3回目の試みとなるACTR研究者の交流会を実施しました。

2つのグループに分かれて、各先生方の研究内容を共有していただくと共に、「文理融合」をテーマに意見交換をしていただきました。学部を越えて文理融合の研究をしている先生・初めて交流会に参加した先生を中心に話が展開され、共同研究する経緯、地域の特性に関すること等の話題が出て、これからの研究に大いに期待が膨らみます。昼休みを活用した短い時間でしたが、ACTRをきっかけに学部を越えて先生方の交流ができたのではないかと感じます。お忙しい中、参加してくださった先生方、本当にありがとうございました。

開催報告

【京都府立大学オープンキャンパス2023にて動画投影】
地域貢献・地域連携の動画投影

7/22・7/23に京都府立大学下鴨キャンパスにてオープンキャンパスが開催されました。

酷暑の中、朝早くからたくさんの方々が来場され会場はとても賑わっていました。本年度は、休憩室として使用されている教室にて「京都府立大学の地域貢献・地域連携」として、映像の投影とパネル展示を初めて実施いたしました。

投影した映像は、今まで地域貢献型特別研究（府大ACTR）などの研究成果として提供いただいていた素材を活用し、また新たに取材したフィールド調査の様子など1時間程度の映像を制作しました。



開催報告

【生涯学習】
2023年度桜楓講座～春の部～

本学では、毎年春と秋に公開講座「桜楓講座」を開講しています。各学部の教員が各々の研究内容を分かりやすく解説しています。今年度の春の部は、「森林と木材」をテーマに、以下の講座をオンデマンド配信で実施しました。申込総数は269名で、高校生から70代以上まで、幅広い年代の方々が受講され、大好評いただきました。

■配信期間：6/20～7/1 申込者数：130名

「歴史と経済の交差点から森林の公益的機能を考える」
公共政策学部 教授 桂 明宏

■配信期間：7/2～7/13 申込者数：139名

「木材からバニラを作る－化学資源としての木材」
生命環境科学研究科 准教授 細谷 隆史



KIRP新メンバー

原田 成至 KIRP研修生（京田辺市より派遣）

京田辺市役所より出向してきました原田と申します。私は市役所に入庁してから7年間福祉部局しか経験していないため、自分のキャリアの中でなにかチャレンジしたいと思い、役所内での京都府立大学（KIRP）への公募に手を挙げました。KIRPにきてからの業務は、何から何まで初めてのことでありますが、新たな発見も多く、新鮮な気持ちで取り組んでいます。

コロナが落ち着き、対面での講義・フィールドワーク等の調査研究も活発になり、学生さんにとっても従来の大学生活が戻ってきています。活気あふれる大学で講義を聴講し、様々な先生から聞くお話や議論を重ねる度、何歳になっても、勉強することが大切だなと思わされます。また、この勉強できる時間が貴重であり、いろんなことを吸収し、経験したいです。

